

第33回コープあおもり通常総代会を開催しました。



2025年6月11日（水）、ホテル青森（青森市）でコープあおもりの「第33回通常総代会」を開催しました。

議事では、奥崎専務理事より第1号議案から第5号議案まで議案書に基づく提案説明が行われ、特定監事の品川公志さんから、監査報告が行われました。質疑・答弁では、総代3名から6項目の発言があり、理事会より答弁が行われました（次ページに掲載）。総代定数500名に対し、496名（実出席171名、委任出席28名、書面議決297名）が出席し、2024年度事業報告・決算報告・2025年度事業計画・収支予算など、5議案すべてが賛成多数で可決・承認されました。

2025年度全体方針

5つの柱

- 1 組合員の声に応える活動を進めます。
- 2 組合員のくらしに役立つ事業を推進します。
- 3 安心してくらし続けられる地域社会づくりに貢献します。
- 4 人材の確保と職員の育成を図ります。
- 5 事業の損益改善と、健全な経営づくりを進めます。



第33回
通常総代会を終えて
理事長 菅原正

6月11日（水）、ホテル青森において第33回通常総代会が開催されました。今年も人数制限なしの開催となりました。総代定数500名に対し、総代の実出席者は171名（前年度160名）、委任状での出席28名（前年度19名）、書面での出席297名（前年度317名）、計496名（前年度496名）の出席で総代会が成立しました。2024年度と比較し総代の実出席者は11名増加しました。また、今年度新卒で入協した職員6名と内部登用職員3名も研修の一環で傍聴させていただきました。生協の総代会とは、組合員の代表である総代が集まり、生協の運営に関する重要事項を決定する会議のことです。株式会社という株主総会のような位置づけで、生協の最高意思決定機関とされています。総代会で決定する主な内容は以下のようになります。

○事業計画・予算の決定・前年度の事業報告や決算の承認、次年度の事業計画や予算を決定します。

○役員の選出・理事や監事など、生協を運営する役員を選出します。

○その他重要事項の決定・定款の変更やその他生協運営に関する重要事項を決定します。

今総代会には第1号議案「2024年度活動報告・事業報告承認の件」、第2号議案「2024年度決算関係書類承認の件」、第3号議案「2025年度活動方針・事業計画

及び予算決定の件」、第4号議案「役員選任の件」、第5号議案「役員報酬決定の件」の5つの議案を奥崎専務理事が提案しました。また、品川特定監事より監査報告書に沿って監査報告がされました。議案提案後、事前に発言を通告されていた総代2名と当日挙手にて発言した総代1名の意見・質問について応答後に採決が行われ、第1号から第5号までの全ての議案が賛成多数で可決・承認されました。

コープあおもりは1993年3月21日、当時の3生協（青森市民生協・弘前市民生協・八戸市民生協）が合併して誕生し、2010年3月21日には弘南生協とも合併して新生コープあおもりが誕生し今日に至ります。

今後、今総代会で確認された「2025年度全体方針5つの柱」に沿って、組合員の皆さまと職員・お取引先が事業・社会的活動を協力して共にすすめてまいります。事業においては、物価高騰や競争環境が厳しさを増していく中、組合員のくらしにより貢献することをめざして利用者を増やし、供給高は2024年度より伸長する予算としています。一方、事業経費の増加から経常剰余金は前年度より少ない予算としています。社会的活動においては、高齢者等見守り活動、コープフードバンクやこども宅食おすそわけ便への食材・雑貨品の提供「はじめてばこ」のお届け、フードサポーターやサニタリードライブ等に引き続き取り組んでまいります。また、今年是被爆・戦後80年、そして国際協同組合年でもあります。組合員の皆さまと職員が共に、生協のこれまでの取り組みとこれから取り組むべきことを学び合える、共感しあえる場を多く作ればと思っています。

「コープあおもりの基本理念」実現のために、組合員の声を大切に、くらしに寄り添い、くらしの願いを実現できるよう、これからも頑張ってまいります。

